

いずみ会/旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報いずみ 第48号

発行/いずみ会 編集/いずみ会広報部
〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-3-1 都立大泉高等学校内
事務所 東京都練馬区東大泉 6-34-30 SKビル305号
ホームページ <http://www.izumikai.net> Eメール izumikai@v7.com

主な記事

- 2~4 執行部関係
- 5 母校関係
- 6~7 恩師近況
- 8 ホームページ特集
- 9~11 同期会・OBOG会関係
- 12 総会ご案内、その他

いずみ会 60周年記念事業

60周年記念事業実行委員会委員長 青山喜彦(高5期)

プロジェクト



来年、私たちの同窓会は、発足60周年を迎えます。人であれば還暦、この大きな節目の時を迎えるにあたり、いずみ会活動が今まで以上に盛り上

がり、また、これからも数多くの同窓生が集える場を提供し続けることができるよう、「いずみ会60周年記念事業」プロジェクトがスタートします。

いずみ会

一望千里、「月の入るべき峰もなし」、かつて武蔵野の大地はそう呼ばれていました。大泉学園の駅前にも高層のマンションが建つ今の時代から考えると驚きですが、起伏の少ない土地が広がる情景が目には浮かびます。そうした地に昭和16年、東京府立第20中学校は創立されました。当時、母校はまだ大泉の地にはなく、現在の都立武蔵丘高校が位置する『鷲宮の仮校舎』で母校は産声を上げました。

翌17年には府立大泉中学校と改称し、校地を練馬区(当時は板橋区)東大泉町380番地に決定、18年3月に西校舎が完成して現在の所在地に移転しました。また、この年の7月には都制施行にともない、都立大泉中学校と改称されました。太平洋戦争の最中、食べるものにも困る時代、校庭の一部には畑があったともいいます。

そして終戦の年の昭和20年(1945年)3月29日、母校第1回の卒業式が行なわれ、197名の同窓生が誕生しました。いずみ会は、ここから始まりました。

校庭の整備など、文字通りの開拓精神に燃え、全校挙げて奮闘した創設期を経て、戦後の昭和23年に6・3・3制を基軸とした新教育制度のもと、母校は現在の名称である都立大泉高等学校として、第2の出発をしました。

このように、我が母校はこれまで数度の名称変更がなされてきました。そして、このことが同窓会の正式名称である「いずみ会」に繋がっていることをご存知でしょうか。学校名+同窓会ではなく、水が湧き出でる石神井の泉に近接する大泉の地に集った者同士、旧制中学・新制高校の隔てなく同じ「いずみ」の旗の下に集まろうとの思いから命名されたのがいずみ会なのです。

60周年

これまで59年間、歩み続けてきたいずみ会。来年の卒業生を迎え、会員数は22,000名を超える規模になります。鬼籍に入られた方々や住所不明の同窓生を除き、現・旧教職員約300名と約17,000名の会員に、この会報は届けられています。

仲間とのふれあい、恩師からのご指導、修学旅行、マスコット作り、助教に支えられた臨海学校、マーチングバンド、数多くの思い出があるでしょう。そうした同窓生の60年分の輪を重ねたいとの願いを込め、60周年プロジェクトは動き始めます。記念事業の詳細については今後、多くの皆さん方と共に詰めていきたいと思っています。

現時点で決まっている事業の骨格は、
①記念式典・祝賀会の開催
②60周年記念名簿の発行(12面参照)
③将来に向けての運営態勢の拡充(会員相互の交流の活発化、会運営のIT化推進)の3つです。

記念式典・祝賀会については、具体的な時期や会費、開催場所など、今後検討を進めていきますが、9年前に母校の体育館で開催した50周年の際の800余名を上回るご

参加を得たいと思っています。

また、毎年開催する総会後の懇親会の企画・運営については、1996年以降、各期持ち回りの当番期制で実施していますが、来々年2005年はちょうど一回りする5の会(卒業期の下1桁が5の期)が担当となります。ただ、総会を兼ねる祝賀会は大きなイベントだけに、「6の会」から始まり今秋の「4の会」まで、オールいずみ会でのご協力を得て、盛り上がりたいと考えています。

ご協力・ご支援を!

平成22年、母校は中高一貫校として、生まれ変わる事が決まっています。具体的にどういった形になるのか、まだ公表はされていません。名称もどうなるのか、わかりません。いずみ会として、新たな同窓生を迎え入れることができるのかどうかも、不明です。

時代は確実に変わっていくようです。ただ、私たちが歩んできた足跡だけは、変わることがありません。そうした足跡を振り返り、あわせて還暦後の新たな一歩を踏み出すため、皆さんからのご支援・ご協力を何卒、よろしく願いいたします。



いずみ会50周年記念祝賀会より

60周年記念事業発足に伴い、5の会(5・15・25・35・45・55期)の皆さんを始めとして、お手伝いだけの方を募集します。事務局長宛に、ご連絡をお願いします。

本年度

いずみ総会・懇親会

10月31日(日) 午後1時より 母校にて開催(詳細は12面に)

本年度 幹事総会報告

平成16年5月29日(土)午後1時より母校会議室において定時幹事総会が開催されました。司会の山本氏(高30期)の進行により、会長挨拶、藤井校長挨拶、議事録署名人(相原氏・高4期、小久保氏・高9期)の選任のあと、議長に大久保氏(高29期)が選出され、議事に入りました。



まず、「平成15年度事業報告および決算報告」について、理事会より報告があり、昨年の幹事総会で種々議論のあった決算報告のあり方については、今年度は過渡期の段

階にあるため、昨年度と同様の報告形式となったことが説明されました。引き続き鈴木、廣川両監査役からそれぞれ報告書に基づき監査報告があり、昨年の幹事総会で指摘した問題点がそのままになっている点等は遺憾ではあるが、その他、基本的にはいずみ会費が適正に使用され、また、いずみ会事業が適正に運営されている旨の報告がなされました。出席幹事からの質疑のあと、本議案は拍手をもって承認されました。

次いで、「平成16年度事業計画案および予算案」について理事会から説明がありました。決算報告と同様、予算立案方式については、さらに専門家の意見を聞きながら次年度には変更できるよう検討を進め、今年度については昨年度と同様の書式に基づき予算案を作成した旨の説明がありました。また、平成5年に大幅改訂された現行規約には、いずみ会の実状に合わない部分も見られ、そうした問題点を整理の上、必要な

規約改定に向けて検討を進めることなどが提案されました。

これに対して出席幹事から様々な質疑が出されましたが、中でも都の通達に基づく新入会員に対する個別加入意思確認と入金個別集金方式については、同窓会の財政基盤を危うくしかねず、また、会そのものの存立にも関わる極めて重要な問題であり、今後とも同窓会として学校側に善処方を強く望む声が出されました。その後も活発な意見交換の後、本議案も拍手をもって承認されました。

続いて、「役員改選の件」について、選挙管理事務局より次期役員候補者について資料に基づき報告があり、満場一致で候補者名簿通りに選任されました。

以上で議事が終了し、引き続き各部より報告事項がありました。昨年開設したいずみ会室の利用状況については、月あたり平均6.4回の利用があり、いずみ会活動の拠点として、今後さらに一層の活用をはかりたいとの報告がありました。

最後に、石井会長より今回選任された新役員と今限りで退任する役員の紹介があり、4時、総会は閉会となりました。

平成15年度 収支決算

収入の部

(単位:円)

1 新入会員入会金(279人)	1,395,000
2 本年度分会費	3,044,000
3 本年度分寄付	1,221,500
4 雑収入	104,038
5 2000年名簿等売上	84,000
6 総会参加費	421,000
7 前期繰越金から	398,860
当期収入合計	6,668,398

支出の部

10 総会費	366,494
20 役員、幹事会合費	277,688
30 監査役員会費	12,660
40 広報費	2,735,846
50 会費関連経費	100,830
60 名簿関連経費	430,647
70 母校連絡費	44,664
80 会員活性費	19,262
90 消耗品作成費	342,436
100 什器・備品・設備費	88,200
200 雑費	13,150
300 予備費	99,996
400 事務局関連費	696,738
500 業務委託費	0
当期支出合計	5,228,611

当期収支の部

1 当期収入合計	6,668,398
2 当期支出合計	5,228,611
当期収支差額	1,439,787
前期繰越金	9,681,490
次期繰越金	11,121,277

平成16年度 収支予算

収入の部

(単位:円)

1 新入会員入会金	1,000,000
2 本年度分会費	3,889,000
3 本年度分寄付	1,636,988
4 雑収入	50,000
5 2000年名簿等売上	10,000
6 総会参加費	375,000
7 前期繰越金(15年度決算額)	11,121,277
当期収入合計	18,082,265
(繰越金以外の年度収入)	6,960,988

支出の部

10 総会関連費	505,000
20 役員、幹事会合費	450,000
30 監査役会費	20,000
40 広報費	2,850,000
50 会費関連経費	114,790
60 名簿関連経費	490,000
70 母校連絡費	150,000
80 会員活性費	20,000
90 消耗品作成費	270,000
100 設備・什器・備品費	361,450
200 雑費	50,000
400 いずみ会室関連費	1,000,000
500 業務委託費	100,000
600 60周年関連準備費	300,000
300 予備費	100,000
当期支出合計	6,781,240

当期年度収支の部

1 当期年度収入合計	6,960,988
2 当期年度支出合計	6,781,240
当期年度収支差額	179,748
次期繰越金	11,301,025

定時幹事総会出席者一覧

(敬称略)

登録幹事総数: 638名 出席幹事数: 93名
委任状提出幹事数: 240名

(幹事) 中学1期: 大和田啓三朗、春日孟、永川俊彦、本村禮二、高校2期: 桜井宏、稲村啓、武見健三、高村宏、高校3期: 長谷川浩吉、仙田陽一、高校4期: 相原睦、江南宏、比嘉高、高校5期: 大澤登、青山喜彦、久我裕、嶋正彦、高校6期: 有田二郎、石井岱三、井上輝夫、今村邦夫、杉山肇、高橋保孝、西多英治、松本正昭、村井和郎、神田計子、舩巴淳子、岡田昭子、高校7期: 板倉克明、高校8期: 新井正晴、高校9期: 須藤一彦、小久保亮史、相原英子、大軒史子、山下嗣夫、高校10期: 井上康子、西谷和子、保延義夫、野口悦子、田島寛、藤田肇、小川皓司、関口昌子、鈴木京子、前川禎男、高校11期: 加藤多鶴子、加藤勇、廣瀬芳子、北上俊人、真田宗興、関根強一、富田順子、高校12期: 相川光夫、高校13期: 丸山和郎、山本章義、小浜佐紀子、高津幸一、戸田一誠、大高光蔵、高校14期: 田村誠、布施百合子、村山千鶴子、国谷俊之、三原寿太郎、浦田恵子、武田英晴、高校16期: 鈴木哲、山本章、大場修一、高校17期: 中津隈健一、高校18期: 杉山明美、安斉秀行、高校19期: 三原千砂子、高校20期: 菊池素子、土肥眺美、讚井正光、金子研一、宮本正信、高校21期: 吉田佐由美、高校22期: 肥沼年光、河北康子、高校24期: 真柳仁、海野ゆう子、高校25期: 谷口俊三、高校26期: 沼田英一、高校27期: 飯田良弘、高校28期: 野島陽子、西澤正博、高校29期: 大久保靖、高校30期: 山本孝文、高校32期: 仲沢浩一、高校52期: 宇佐美友梨(監査役) 高校10期: 廣川和男 合計94名

いずみ会財産目録

(平成15年度末現在 単位:円)

1 一般会計繰越金	11,121,277
普通預金	3,526,449
定額貯金	7,500,000
手持現金	94,828
2 名簿発行引当特定預金	3,346,795
定期預金	3,346,795
3 次年度以降会費引当貯金	18,236,306
郵便貯金	3,935,306
定額貯金	14,301,000
合計	32,704,378
(その他) 同窓会名簿(2000年発行)	353冊
パソコン(購入分)	3台
プリンター	1台

いずみ会二年間を振り返って

会長 石井 岱三 (高6期)

二年という歳月が急流の中の小船のように、過ぎ去った感じがしています。その小船の行き先も見えず、明るさもない暗夜の中を、水の流れに乗っていた日々としか思えませんでした。この間、旧理事の皆様方に支えられ、またご協力をいただき、間違いのない方向に進むことができました。これも皆様のお陰であり、心から感謝いたしますと共に、厚く御礼申し上げます。

最初の年は嫁に来たようなもので、右も左もわからないうちに、理事さんのいわれるとおりに流れてきました。二年目に入り、少々先が見えてきましたので、組織の一元化を図るために「いずみ会室」を西武池袋線大泉学園駅前に設置することができました。今までは家内工業的に、理事又は役員のお宅で作業していたものを、一拠点に集めることによって、業務の正確性と透明性を持たせることもできました。

本年6月には新しい理事さん達も決まり、信頼を高めることが可能な陣容となりました。この理事達を中心に、いずみ会の組織の強化と、安定した会の運営に努力すると共にいずみ会の質を高め、会員のための会にしていきたいと考えております。

本年10月に予定しているいずみ会の総会・懇親会には「4の会」の方々が協力合せて、新しい企画を準備していただいております。また来年(平成17年)は同窓会(いずみ会)創設60周年を迎えることになり

ますので、60周年の歴史と伝統に基づく、意のある記念式典が開催できることを期待しております。60年の歴史を持ついずみ会を敬愛し、会員の皆様自身がこの会を育成することにご理解とご協力を賜れば幸に存じます。

母校の都立大泉高等学校は会員の皆様が残してくれました「文武両道」の精神も脈々と受け継がれています。平成22年度には中学校を併設して、中高一貫の教育を実践するモデル校になる予定です。母校の発展は平行的にいずみ会の発展につながるものと考え期待を大きくしています。母校といずみ会は車の両輪のように平行して進展の道を歩むものと考えております。皆様にはこの歩みに歩調をあわせて、進展するいずみ会にご支援をいただきたいと願っております。



新役員の顔ぶれ(幹事総会にて)

新役員紹介

会長 石井 岱三 (高6期)

副会長
60周年記念事業実行委員会委員長
青山 喜彦 (高5期)

副会長
規約改正委員会委員長
高津 幸一 (高13期)

副会長(母校連絡担当)
大場 修一 (高16期)

理事(事務局長) 有田 二郎 (高6期)

理事(総務・企画部長)
大高 光蔵 (高13期)

理事(会員情報部長)
大沢 登 (高5期)

理事(会計部長)
会計制度検討委員会委員長

比嘉 高 (高4期)

理事(広報部長) 杉山 肇 (高6期)

理事(事務局) 松本 正昭 (高6期)

理事(総務・企画部)
村井 和郎 (高6期)

理事(広報部) 奥本 久治 (高15期)

理事(広報部) 久保田 繁 (高15期)

理事(事務局・会計部)
土肥 暁美 (高20期)

監査役 桜井 宏 (高2期)

監査役 廣川 和男 (高10期)

監査役 眞田 宗興 (高11期)

平成15年度 事業報告

いずみ会は、規約及び平成15年度事業計画に沿って、次の事業を行いました。

第1 総会の開催

平成15年10月26日(日)、総会を母校にて開催しました。前半は、理事会の進行でいずみ会の活動や母校関連事項を報告し、後半の懇親会は、「3の会」による「愛33(桜桜)」のテーマのもと、手作りの料理や数々の企画で多くの会員と懇親を深めました。(参加者数181名)

第2 会報の発行

1. 会報いずみ第47号を平成15年10月1日に発行しました。主な記事は次の通りです。
・「いずみ会室」の案内を中心に、いずみ会事業計画および活動状況の報告
・会員・OB・OG会情報・母校関連
・会員インタビュー・役員改選案内その他
2. ホームページの充実については、より魅力的なページにすべく計画しましたが、懸案が多く、来期へ申し送ることとなりました。

第3 会員情報の整備

1. 住所不明者の判明率向上を図るため、名簿幹事の集いを、7月20日と3月21日に開催し、各期の幹事等、延べ71名が参加しました。
2. 住所連絡用のハガキに加えてホームページなど、会員情報の変更ルートは多岐に渡るようになっており、約1100件のデータ修正を行いました。
3. 「高校54~56期」名簿を作成し、高校56期の会員へ「2000年名簿」と共に配布しました。
4. 同期会支援のためのDMラベル作成を、2期分実施しました。
5. 幹事総会にて、部の名称を「名簿部」から「会

員情報部」へと変更しました。

第4 母校との連絡

1. 平成16年3月15日の卒業式予行日に、いずみ会入会式を開催しました。
2. 平成15年9月20・21日の母校文化祭へ参加し、「いずみの広場」において「いずみ会文庫」を紹介しました。(入場者数281名)
3. 5月19日に母校校長、教頭と懇談会を開催し、母校との緊密化をはかりました。

第5 会費管理

1. 会費・寄付金・入会金等の管理および適切な執行。
2. 会費納入率の向上推進。
3. 幹事総会における審議を受け、「会計制度等検討特別委員会」を設け、専門家を交えて、いずみ会の会計に関する適切な取り扱いに関して検討を行いました。
4. 都教育庁の通達を受けて、新入会員の入会の意思確認及び入会金の取り扱い方法が変更されました。

第6 その他の事業

1. 定時幹事総会の開催(平成15年5月31日)。
2. 定例理事会の開催(10回開催)。
3. 平成15年度監査会の開催(4月29日・5月1日)。
4. 幹事総会の審議を受けた規約検討委員会の開催(2回)。
5. 各期からの特別の申し出への対応。
6. 各期幹事の登録更新。
7. 総会・懇親会で積極的な若手会員の発掘。
8. 事務局幹事の募集及び事務局体制の拡充。

平成16年度 事業計画

いずみ会は、規約に沿って、平成16年度に次の事業を実施します。

第1 総会の開催

平成16年10月31日(日)、母校にて開催予定。前半は、いずみ会の活動や母校関連事項の報告、後半は「4の会」(高校4・14・24・34・44・54期の会員で結成)の企画・運営による懇親会を行います。

第2 会報の発行

1. 会報いずみ第48号を平成16年10月1日に発行予定。今号は主に次の記事を掲載します。
・いずみ会の60周年記念事業について
・いずみ会事業計画および活動状況報告
・会員・OB・OG会情報
・母校関連情報
・会員インタビューその他
2. ホームページの充実

第3 会員情報の整備

1. 来年度に発行予定の「60周年記念名簿」にむけ、準備を開始します。
2. 会員情報の精度向上に向け、各期会員情報部幹事との会合を2回開催します。
3. ホームページの積極的活用を図り、情報収集窓口としての機能向上を目指します。
4. 「高校54~57期」名簿を作成し、「2000年名簿」とともに新入会員に配布します。
5. 同期会支援のため、今年度もDMラベル作成サービスを継続実施します。

第4 母校との連絡

1. 平成17年3月14日予定の卒業式予行日に、いずみ会入会式を開催します。
2. 平成16年9月19・20日予定の母校文化祭へ参加し、「いずみの広場」において「いずみ会文庫」を紹介します。
3. 母校関係者と交流会を開催し、母校との緊密化をはかります。
4. 新入会員の加入に際して協力を求めます。

第5 会費管理

1. 会費・寄付金・入会金等の管理および適切な執行。
2. 会費納入率の向上推進。

第6 いずみ会の60周年事業

1. 記念事業の内容についての検討。
2. それに関わる経費についての検討。

第7 規約に関する検討

第8 会計に関する検討

第9 その他の事業

1. 幹事総会の開催(平成16年5月29日)。
2. 理事会の開催。
3. 監査会の開催。
4. 各期幹事の登録更新作業。
5. 若手幹事の積極的参加の呼びかけ。
6. O.A化による事務の効率化と事務局体制の拡充。
7. その他。

平成15年度 新入会員 入会式報告

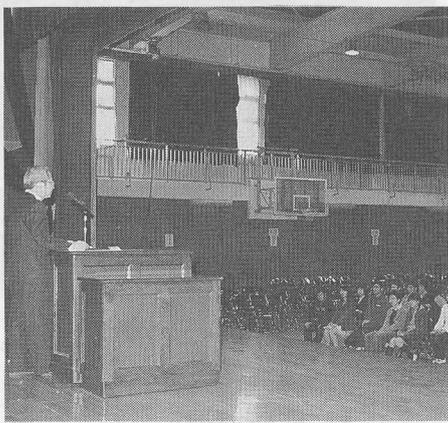
いずみ会では、毎年3月、卒業式の前日の式の予行日に、新卒業生全員を同窓会員として歓迎する趣旨で「入会式」を行っており、新幹事には、会長から委嘱状を交付してきました。また、入会金は、卒業関係の積立金から一括して納付されてきました。しかしながら、平成16年3月の卒業生については、東京都教育庁から学校長にあてた通達で、「同窓会の入会については、個々に入会意思を確認することが望ましい」との要請があり、入会金についても、学校が集めて一括して入金することは差控えたいとのお願いもあり、いずみ会から新入会員に直接通知して、入会の確認と、入会金の振込みを依頼しておりました。

2月末時点で、新卒業生(高校56期生)からの回答や振り込みは僅かであり、入会式で更にいずみ会のPRを行い、卒業式当日には入会金の納付を受け付けようということになりました。

平成16年3月15日、母校体育館アリーナで開催された入会式では、「卒業生は全員が同窓生であり、いずみ会員として歓迎する」と宣言し、記念に「2000年名簿」を全員に贈呈し、卒業式当日の入会金納入受付の案内と新名簿(高校54~56期分)贈呈のPRを行いました。

翌16日、卒業式当日は、正面玄関受付横にいずみ会のデスクを設け、卒業式に出席の保護者に呼びかけ、入会金を受理し、新名簿・会報の配布を行い、当日だけで101名の入会金の納付がありました。

これにより、入会金の納付率は6割を越えましたが、未納者もいずみ会会員として扱うものとされ、4月に入って更に振込用紙を送付して納入をお願いしています。



高校56期 幹事一覧 (敬称略)

- (1組) 大野 翔太 門田 由紀
- (2組) 河合 香織 齋藤 雅嗣
- (3組) 加藤久仁明 小谷由美子
- (4組) 大城 りん 曾我 有奈
- (5組) 加藤 貴章 河合 恵里
- (6組) 戸田 琴美 中村 岳史
- (7組) 堀畑 杏奈 松井 一剛

* 幹事の役割は、幹事総会への出席の他、同期生の名簿管理などになります。

平成15年度 いずみ会総会報告

平成15年度のいずみ会総会は、平成15年10月26日(日)、母校において、来賓の学校側幹部、恩師の先生方を迎え、会員170余名が出席して開催されました。

校門には、筆黒々と、「いずみ会総会・懇親会」の看板が掲げられ、正午には玄関ロビーに受付のデスクが設置され、「3の会」の動員により受け付け部隊が大勢陣取って、出席者の受付が開始されました。

受付を済ませた会員は、大泉時代のクラブ、趣味や夢などを書き込んだ名札を胸に、久しぶりの母校を懐かしみながら、会場の視聴覚教室(2号棟3階)に向かいました。

会場では、開会を待ちながら思い出話に和やかな輪が広がり、定刻1時に、来賓の藤井校長先生、奈良教頭先生、小枝事務室長をお迎えし、土肥暎美理事(高20期)の司会・進行で総会が開会されました。

まず、いずみ会石井岱三会長(高6期)より、平成15年度の事業活動とその実績について報告を兼ねた挨拶があり、特に6月に開設した「いずみ会室」について、同窓会の活動の拠点として活用を図って行きたいの方針が表明され、会場にも賛同の空気が漂いました。

続いて、4月に着任された第17代校長藤井文雄先生より、自己紹介、中高一貫校など学校を巡る動きを中心としたご挨拶があり、同窓会の支援、協力について要請がありました。

次いで、加藤勇副会長(高11期)より、いずみ会の事業・会計の状況について事務的な報告があり、ほぼ定刻の午後1時20分過ぎに総会の部は閉会し、引き続いて会場を改め、「3の会」が企画・運営する懇親会に移りました。

愛 燦 燦 (3の会)

3の会会長 長谷川浩吉(高3期)

「若返ったみたいだね」
「全然変わらないじゃないか」
「足が悪いのに……、杖ついてよく来てくれたなあ」
「あとでゆっくり話したいな」

2003年10月26日、総会に続く懇親会の会場入り口で懐かしい面々を迎える。どの顔も輝いている。

3期は動員を。13期は大高実行委員長を中心に企画と進行。23~53期は実働部隊。この役割分担は、これが初対面の集団か、と思うばかりによくかみ合っていた。私たち3期は参加呼びかけの電話攻勢。

「幹事三人から電話で頼まれちゃあ……。でも、来て良かったよ」

東京在住の同期女性の出席率は100%だった。1/1だから……。

若手女性陣は3時間前から、野菜や果物の調理・下拵えに大奮闘だ。こんなに食べるのかと驚くほどの量。その努力の成果は、「料理、なかなか旨いじゃないか」
「この時季に鴨鍋……。考えたね!」



参加者の半数以上の人に賞品があたるビンゴ会場は、超満員の盛況。

「よくこんなに大勢集ったな!」
「こういう会なら、又来たいね」

現役プラスバンドの、力強い見事な演奏。校友の歌を斉唱しながら、確かな手応えを感じる。

「この熱気は来年にもつながる」
なつかしい恩師、会員、頼もしい現役。総勢250名が、愛燦燦と集う「3の会」だった。(高3期・熊谷光恭 記)

文化祭でいずみ会文庫展示

~今回も盛況でした~

平成15年9月20日(土)・21日(日)の両日、大泉高校の文化祭が開催されました。いずみ会も前年と同様「いずみ会文庫」に所蔵してある元教職員や卒業生の著書約150冊を「いずみの広場」に展示しました。

台風15号による大雨のなか、何名位の来場者があるか心配でしたが、なんと前年の238名を上回る281名の来場者があり、担当役員は昼食をとる暇もない程でした。

初日には藤井文雄校長も様子を見に来られ、さまざまな本をご覧になり、また各分野で活躍されている卒業生の話を役員達と

交わされ、大泉高校の伝統の重みを改めて強く感じられたようでした。

保護者の方々の家族連れも目立ち、あれこれと興味深げに本を手にとって卒業生の活躍ぶりに感心なさっておられました。会場前の和室からは箏曲部による琴の音が優雅に流れ、来場された方々は本当に満足された様子でした。

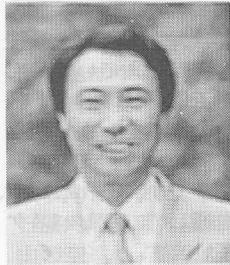
「いずみ会文庫」には、現在約160冊の著書が収められ、図書室の一角で在校生がいつでも手に取れるように展示してあります。文庫の益々の充実のため、皆様の著書等のご惠贈を重ねてお願いいたします。

<送付先>

〒176-0005 東京都練馬区旭丘1-48-4
市川敬二(高13期) TEL 03-3950-3705

タスキリレー

第17代校長
藤井文雄



同窓会の皆様には、日頃より本校へのご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

大泉高校で2年目となり、本校の様子がやっと見えてきました。伝統の「自主創造」と「文武両道」がしっかりと生徒の学校生活に根づいています。

本校は平成22年度から練馬地区の中高一貫校となります。今年度より、校内に中高一貫の検討委員会を立ちあげました。今後は、本校の特色化のためのビジョンを検討し、基本計画を作成していきます。同窓

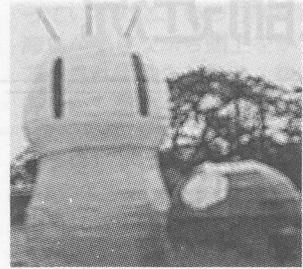
会からのご意見なども伺い、参考にしています。

学校週5日制・入学選抜の学区制度の廃止など、学校は大きく変化する時代を迎えています。しかし、生徒が「本校に通って良かった、本校を誇りに思う」学校作りに邁進する覚悟です。

歴代の校長先生や先輩の先生方の熱き思いと同窓生の方々の期待に応えるべくタスキをかけて走り始めたところです。

同窓会の皆様には、部活動や文化祭などの機会を通して、本校の生徒の姿を見ていただき、励ましと応援をお願いしたいと思います。最後に、同窓会の益々の発展を祈念いたします。

体育祭



5月12日水曜日、恒例の体育祭が実施された。衣装や振り付けに工夫をこらした応援団のもと

マスコットのニャッキが見守る中、熱戦がくり広げられた。部活対抗リレー・障害物競争・むかで競争など、楽しいパフォーマンスや色々と笑わせることを工夫したり、また一方真剣にゴールを目指して走ったりで、3年生にとっては最終年の良い思い出として、1年2年生にとっては来年に向けての思いをつのらせての体育祭だった。

活躍しています

ソフトテニス部

ソフトテニス部は本年度、男子個人戦と男女共に団体戦で関東大会に出場することが出来ました。会場には各都県の代表選手が集結しており、都内での試合とのギャップは大きく、周りの雰囲気にも圧倒されてしまいました。しかしこの中で最高のプレーをしたという思いで一杯でした。多くの方が応援して下さいました。男子は炎天、女子は大雨の下での試合でしたが、どの選手も大きな声を出し、精一杯の力を発揮し頑張りました。男女関係なく毎日皆で練習してきたため、部の団結力は強靱です。応援席の仲間、先輩方、ベンチの芦田先生が勝ちたいという気持ちで一つとなり、更に気持ちも高まりました。周りの方が一緒に試合を作り上げて下さっているからこそ選手は力を発揮出来るのだと思います。この様な素晴らしい経験をする事が出来て本当に恵まれていたと思います。

結果は、

- 男子個人 1回戦 2-④ (埼玉)
- 男子団体 1回戦 1-② (千葉)
- 女子団体 1回戦 ②-0 (山梨)
- 2回戦 1-② (千葉)

毎日努力をしてきたので、誰もが充実した気持ちだったと思います。いつも仲間には色々助けられましたし、更に、芦田先生には休日も返上して指導に当たって頂き、本当に感謝しております。思い切りテニスが出来た事はとても幸せでした。今後の後輩の皆さんの活躍にも期待しております。頑張ってください。

女子部長 塩野永里子 (3年)

教職員人事異動

「転出・退職」 () 内は転出先等

- 国語 橋本洋介 (戸山高校)
- 国語 糸井明子 (石神井高校)
- 地歴 山口宗雄 (武蔵村山高校)
- 数学 橋口修承 (小石川高校)
- 生物 幾島和子 (富士高校)
- 保体 鎌田重行 (三田高校)
- 保体 坂之井不二雄 (駒場高校)
- 保体 川村真弓 (芝商業高校)
- 英語 小泉 力 (鷺宮高校)
- 理科 鈴木史子 (井草高校)
- 事務 小枝秀夫 (生涯学習部)
- 事務 鈴木公春 (大泉学園高校)
- 事務 杉本浩章 (石神井ろう学校)
- 事務 池田岳大 (小笠原高校)
- 技能 笠原英雄 (四谷商業高校)
- 技能 山下キヨ子 (退職)

「転入」 () 内は前任校等

- 国語 殿岡彰子 (大泉学園高校)
- 地歴 佐向 颯 (武蔵村山東高校)
- 数学 斎藤博士 (農芸高校)
- 生物 岩本伸一 (上野高校)
- 保体 尾高英樹 (王子工業高校)
- 保体 佐藤 譲 (代々木高校)
- 保体 淵上奈美子 (新規採用)
- 英語 渡辺 毅 (忍岡高校)
- 理科 工藤千尋 (武蔵村山高校)
- 事務 小山喜代子 (事務長昇格)
- 事務 佐野愛子 (教育庁)
- 事務 岸 正人 (武蔵丘高校)
- 事務 佐藤善樹 (芦花高校)
- 事務 岩崎淳子 (光明養護学校)
- 事務 寺澤明子 (新規採用)
- 技能 細田幸弘 (久留米高校)

進路状況

(浪人生を含む)

「国公立大学」

北海道1、筑波4、埼玉4、千葉2、東京1、一橋2、東京工業3、東京学芸2、東京農工2、東京海洋3、電気通信2、横浜国立2、岩手1、新潟1、東京都立7、その他6 合計43名

「私立大学」

青山学院12、亜細亜3、大妻女子2、学習院13、北里4、慶応義塾5、工学院10、国学院2、駒沢10、国際基督教3、芝浦工業18、上智11、昭和女子3、成蹊21、成城7、専修8、大東文化7、玉川1、中央38、津田塾1、東京家政8、東京経済1、東京女子13、東京電機10、東京農業10、東京薬科5、東京理科22、東邦1、東洋21、

独協6、日本24、日本女子13、文教5、法政24、武蔵13、武蔵工業3、武蔵野美術3、明治34、明治学院10、明治薬科1、立教35、立命館3、早稲田52、その他63

合計559名

「短期大学」

青山学院女子3、東京家政3、立教女学院4、その他1 合計11名

「専門学校等」

合計6名

「就職」

1名

特記 今年は久しぶりで東京大学の合格者が出ました。早稲田大学の合格者数も昨年より10名増え、ここ4年間は毎年増加しています。合格者数ベスト3は、1位早稲田大学、2位中央大学、3位立教大学。

平成16年度学校年間行事

- 4月8日・入学式
- 4月13日・新入生歓迎会
- 4月・保護者会
- 5月11日・体育祭
- 6月・学校運営連絡協議会
- 7月・応急処置講習会
- 7月・進路講演会
- 8月・夏季合宿
- 8月・集い in 夏

- 9月9日～10日・球技大会
- 9月19日～20日・文化祭
- 10月9日・授業公開学校説明会
- 10月14日・開校記念日
- 10月・進路講演会
- 10月・避難訓練
- 11月6日・授業公開学校説明会
- 11月・生徒会役員選挙
- 11月・学校運営連絡協議会

- 12月・進路講演会
- 1月15日・センター試験
- 1月15日～18日・H R 合宿
- 1月・教室内空気検査
- 2月・生徒総会
- 3月14日・いずみ会入会式 (高57期)
- 3月15日・卒業式
- 3月25日・16年度修了式
- 3月・学校運営連絡協議会

恩師近況

小川 嘉一郎 先生

理科 S32~S43



デモシカ先生の反省記…私が大泉高校に採用されたのは、昭和32年の5月でした。本来なら大学の研究室に残って「メダカの性転換の研究」を続けるつもりでしたが、主任教授と研究方法で意見が対立し、結局首になってしまいました。

一浪して同研究所に入り、再挑戦したが受け入れられず、経済的な理由もあり仕方なく予備的に受験していた高校の理科の教師になることになったというのが実態です。ですから、学期の途中採用と同時に高2の学級担任に任命され、びっくりすると同時にこんないい加減な気持ちで大事な生徒の教育が勤まるとは思えず、もしも「ポンちゃん」始め優秀な先輩と素直な生徒諸君に恵まれなかったなら、現在の自分は存在しなかったとつくづく感謝している毎日です。

倉園 昭雄 先生

美術 S32~S37



13期(1~2年時担任)前後の皆さんへ。

顧みますと昭和37年春福岡教育大学に転じ、福島大学、長崎大学、愛媛大学と移り、平成2年愛大を退官、その後福岡の中村学園大学に就任。9年に定年退職。引き続き客員教授、平成14年3月任期満了で教育研究から離れ、その後は専ら工芸製作を続け、毎年6月都立美術館での新構造展に出品し、時々会期に上京しています。

昨年は丁度13期の同期会もあり上京しました。久しぶりに還暦を迎えた皆さんと会い、奇しくも私も喜寿で短い間の大泉でしたが、当時を回顧して楽しいひと時でした。

これから夫々第二の人生への旅立ち、どうか皆さん健康には充分留意の上、有意義な楽しい老後を送られるよう遙か福岡の地より祈ります。kanndou@dream.com

高橋 茂 先生

数学 S25~S40



本年満80歳、薬の副作用で数年前に左眼失明、でも元気です。新卒で着任式にボート経験を紹介され顧問になり、海洋班・海洋部・漕艇部を在職の15年間勤めました。

品川沖でカッターの漕艇と帆走。昭和26年夏東京湾縦断して千葉県勝山町で合宿、帰路に、連絡不十分等で遭難かと心配されてしまう。漕艇部50年史は如何になりましたか。

自称中堅の頃、進学校の一人員として張り切る。学年に一つ特別クラスを作り指導する件が職員会議で反対され、学年の強い要望で当該学年だけの条件付承認となる。特に教師と生徒ともども頑張る。国立一期校に35名を越える合格者を出しました。猪突猛進し、方々に迷惑をかけてしまう。同僚にも生徒にも随分育てられたことに感謝しています。

佐藤 克子 先生

英語 S63~H15



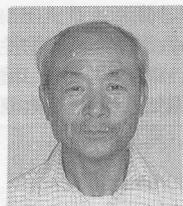
退職して2年目になります。時間がたっぷりありますので、ラジオ講座でスペイン語とイタリア語を聴いています。定着の方はあまり芳しくありませんが、「継続は力なり」と気長に考えています。今年から始めた水墨絵画も老後の新たな楽しみとなりました。練習しているとあっという間に時間が過ぎていきます。

教員生活最後の15年をお世話になった大泉では頑張りのきく多くの生徒たちとの出会いに恵まれ忘れられない日々を過ごしました。特に文化祭ですばらしい発表を見た時、バレー部顧問として試合や合宿を引率した時のことなどが今も鮮やかによみがえります。

卒業生の皆様には如何お過ごしでしょうか。どうぞお元気で活躍下さい。

山田 政和 先生

理科 S62~H4



カッコウの鳴き声をきき、今年もやっと国分寺に来たのかと思いながら帰ると、近況をの話にびっくり。卒業後数十年ぶりに日直日誌(10冊)を取り出して読むと、進路への悩み、友達への思い、夢などのある生活が、学年が進むにつれ文も長く、絵あり歌ありで当時の顔や出来事が頭に浮かんでくる楽しいひと時です。高校ではどんなことを考え夢を持っていたのか、日誌にどんなことを書いたのか、思い出して見て下さい。大切な日誌は、これからも預かっておきます。

今はウグイス、時にはヒバリのさえずりをききながら、色とりどりの草花をつむとこの中にある虫が、丸くなって落ちたり、あわてて逃げまどうかっこうの面白さを見るのを楽しみにしています。

中川 恵 先生

体育 S51~S61

『大泉』を出て18年経ちます。白鷗高校、葛西南高校(定)玉川高校と異動し、



平成15年4月、四谷商業高校、久しぶりの第3学区に戻ってきました。

バスケットボール部の指導は、白鷗高校を最後に、今は行えていませんが、玉川高校のとき、公開講座の講師で小学生の指導をしました。とても楽しく、リタイアしたら、ミニバスの指導にかかわるのが夢です。そんな訳で、今は実用書の監修等を通して、少しバスケットボールと係わっています。

大泉での10年間の思い出は、クラス・部活動・臨海学校等限りありませんが、自分自身の母校であることもあり、思い入れは強く、ずいぶんと強引だったように思います。こんな自分を受け入れてくれた生徒たちの優しさに感謝しています。

服部 正平 先生

国語 S34~S41



当年73才になりました。全く職を離れ、学齢以前のように自由の身となって5年目に入っています。

大泉高校は、定時制も含めて、私の教師生活の振り出し校でした。優れた先生方に囲まれ、多くのことを学びました。

生徒諸君もまた優秀かつ個性的でした。登下校時、混む電車やバスの中では絶対に座らないことを大泉高校生の伝統にしようと考えていた人もいました。修学旅行に歯ブラシ一本だけで参加した人、水虫の薬の小ビン一個の人もいたと聞いて、なるほどと考えさせられたこともありました。書き出したら切りがありません。

昼休みに「鉄腕アトム」や校歌の混声合唱が、木造校舎脇の青桐の木の根元から2階の職員室に聞こえていた頃のことです。

西村 漱子 先生

司書 S49~S60



円形校舎の図書館には、歴代の方々から心の糧として選んで来られた本が配架され、一冊一冊、開けば、人類普遍の知の光がさし、過去からの情報を発信しています。静かに読書している高校生の姿は清冽で、文化の象徴です。このような現場に立ち会い司書教諭として、新しい問題に直面しつつ若い人達と共に活動できた日々は充実して生き甲斐のあるものでした。図書委員達と「春の戴冠」を読み合ったり、訪れた卒業生にゲーテの「イタリア紀行(相良守峯訳)」をすすめたり、レファレンスもまた明るくたのしく、新図書館への大移動も感動的でした。

退職後、足を痛めて転倒、顎骨骨折、磁気治療を受ける身となりましたが、「磁力と重力の発見」に出会い勇気づけられ「アンチ・エイジング」を志しています。

空 遠 く 市村 緑郎 先生

大泉高校で美術を教えていられた市村緑郎先生は昨年11月、日展において内閣総理大臣賞を受賞されました。作品の紹介もかね、伺ってみました。

空遠く…ひざをついて座った女性が右に振り向きざまに、天を見上げた姿。第35回日展内閣総理大臣賞受賞作品です。「山また山の空遠く、海また海の空遠く求め続けるものがある。たとえ空、空(から)、空(くう)に帰するとも、内なる心の問いかけに、遙か彼方の訪れもここから始まる脈動世界。そんな理想と力不足の現実が繰り返す状態を不安定なポーズで表現しましたが、彼方からの訪れを構築することの難しさを痛感しての制作となりました。いま作品を前に、襟足の髪の多さが下からの流れを弱めてはいまいか、足のあり様等、指滴と問いかけが残っています。」と先生は述べておられます。また、仏教でいう、色即是空の世界を表現するのが夢で、現実には厳しく悩みも多い、その過程を表現できればと。理想と、それに届かないことを繰り返す心の様子も表現できれば…。とも。

少年時代と美術を志したきっかけは…
小学3年生までは校庭は竹槍の訓練場の状態。終戦を迎えると、校庭のほとんどはイモ畑。やっと校庭で運動会が開かれたのは5年生になってからでした。6.3.3制による木造校舎で過ごした中学時代も懐かしい。高校では美術部に入ったが、病気がちの先生からはついぞ何も教えていただけなかった。美術の道に進もうなどと夢にも思わなかった。受験のため上京してから見た、スケッチブックを小脇に抱えた学生のカッコ良さ、それに魅かれて今の道に…、とは全く恥ずかしいことですが、事実です。

東京教育大学教育学部芸術学科彫塑専攻を卒業され、専攻科へ進まれましたが、やむをえない事情のため中退。大泉高校の美術教師として赴任されました。

初めて教える立場になった高校教師。どんな揺さぶりにも答えてくれた生徒達。いま、それぞれの道で活躍していることを見聞するにつけ、過ぎ去った20代、30代のこと鮮やかに蘇ってくる。あの、生徒達と



第35回日展(2003) 内閣総理大臣賞 空遠く 市村緑郎

中庭に着色した小石を並べて造った、20メートル四方のモザイク画…。門から玄関まで約100メートルに、真っ青な足跡をつけ、玄関前でベニヤ板大の右足跡の、前半分を垂直に立て、左足跡は高く空中に上げ、それぞれに白い雲を浮かべた…。また、校庭に掘った一辺2メートルの四角い穴。その青く染めた五つの面にも白い雲が浮かんでいた。などなど…。

この大泉のキャンパス内の数々の作品をリアルタイムで体感され、懐かしさに駆られている同窓生諸氏も数多いのではないのでしょうか…

生徒達と体当たりで苦業を共にしてきたことが、激しい学生運動とそれに続く三無主義の時代にどっぷりとつかっていた彼らにとって、何らかの糧になっているとすれば望外の喜びであります。また、授業で上げた立体風。その中のとてつもない大風のため、その日からカーテンのない教室が出来てしまったことなど、常軌を逸したこともあったが、「生きている授業展開」を自負する美術教師としての当時の私の課題は、まさにこのヴァイタリティの育成であった。と、嬉々としてかつ、いとおしそうに当時を思い出しておられます。

1969年、INSEA国際会議(ニューヨーク)での研究発表のために搭乗した飛行機内で、1万メートルの上空を音速にも比すべき速さで飛んでいるのに、何のスピード感も騒音も無く、限りなく広がる青空と雲海の中で快適そのものであったこと。また

彼の地で訪ねたディズニーランドでみた、全天周囲映像は、紛れも無くここにとどまっているのに、いつの間にか周囲は海で、海鳥が鳴きながら頭上をかすめていく。前方を見れば舳先があり、後方には艀があり、あたかも海上を疾走するかのごとき感があった。と思えば、はや飛行機に乗って空中を飛翔している。この一見矛盾に思える臨場感を一つの事象として片付けるのは易しいけれど現代の拭い去れない自己の位置の不確定性と不安感の中にあって揺らぐ生徒達なればこそ、真に生き抜くヴァイタリティをそれぞれに見いだし、芽生えさせ、育成していくことが、美術教師の基底に是非ともなければならぬと考えていらっしゃいました。

飄々として、体全体で生徒や学生と対峙し、あくまで明るい口調で語りかけ、真摯に制作に励む。「さまざまな制約を取り払うことで、その人の持っている本当のものが画面に生き生きと出る。そのための働きかけとしてやるのが、指導で、他の教科と違って美術が一番やりやすいし、技術的なことよりずっと大切である。」「思い込みであってもいい…徹すること…、燃えること…、これこそ私がいくつになっても持ち続けていきたい信条です。」

空の遠く、内なる心の問いかけに訪れるものは…先生の歩みを感じる時、今までは少なからず遠くにあった彫刻と、語り合えるかな? とりあえず向き合ってみたくなりました。(構成 広報部)

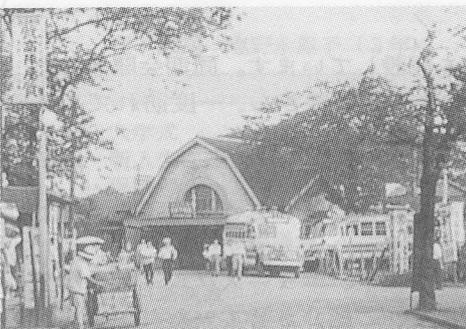


プロフィール
昭和11年4月21日生
東京教育大学卒業
昭和37年~45年
大泉高校教諭
現・埼玉大学名誉教授
崇城大学教授
市村 緑郎 日展評議委員他

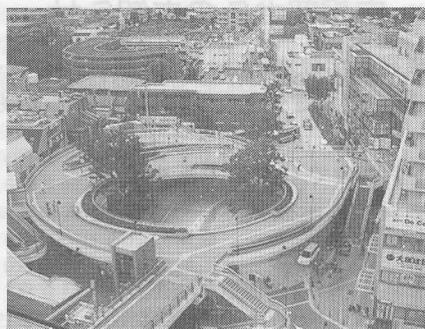
(いちむら・ろくろう)

○さがしています! ————
昭和40~41年頃に大泉高正面玄関に展示されていたバスケットボール部員をモデルにした作品が回収の段階から行方不明になっています。先生は手元へ戻ってきて欲しいと切望されています。情報をお持ちの方、いずみ会窓口(12面参照)までぜひ!ご連絡ください。

大泉学園駅 いま・むかし 大泉学園駅前の再開発により、駅周辺の景色が一変しました。記憶の中の風景と「大泉の“いま”」を見比べにいらっしゃいませんか。



懐しの北口駅前風景(昭和31年)



現在の南口駅前 ※左端中央が駅入口



現在の北口駅前風景

緑 蔭 ホームページ特集

「パソコンなら任せて!」という方も「インターネット? それっておいしいの?」という方も、どうぞご覧ください。
すでに、日本の国民の半数はインターネットを利用しており、世帯や事業所での普及率は8割、企業ではほぼ100%近くになりました。
そこで、今回は、会員の皆様のホームページをご紹介します。

同期会のホームページ

大泉高校第28期生同期会ホームページ
<http://www10.plala.or.jp/ken001/oizumi28/>

一昨年の第2回同期会の後、メールを使った同期生同士の連絡が頻繁に行なわれてきたこともあり“情報交流の場”としてどこからでもいつでもアクセスできるHPを開設しようとの提案がありました。

早速、有志10名程度でプロジェクトチームを結成し、どのようなコンテンツにすべきかアルコールを飲みながらの侃侃諤諤の議論を経て、メンバー各自が提案したコンテンツを皆で具体化し、2002年12月に第一版のHPをリリースしました。

HP開設後もクラス会等大小イベントが頻繁に開催されていますが、その模様を掲載することにより、参加できなかったメンバーにも当日の雰囲気が手に取るようにわかり、次は是非参加したいとの声も寄せられています。(飲み会ばかりやっているようですが…)

情報交流の中心は掲示板になりますが、掲示板に参加しやすいよう“ニックネーム可”としました。“あの人は誰だ”とか“この人は〇〇さんのようだ”とか話題を提供することになりましたが、やや無責任なコメントも出てきたため(部外者と思われませんが…)、メンバーが安心して使えるようパスワードをかけることにしました。また、連絡先不明者のリストを掲載し、広くメンバーからの連絡を待つことにしたところ5件程度の連絡があり、“行方不明者”の解消にも少しは貢献できたのではないかと思っております。

卒業後30年近くたつと連絡を取るのも大変ですが、このHPが少しでもメンバー間の情報交流の活性化に役立ってほしいと願っております。

(高28期HPマネジメントチーム

佐藤 謙一)

OB/OG会のホームページ

箏球部 (basketball club) OB/OG会
<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Club/1518/>

今回のホームページ開設は、バスケットボール部OB/OG会員(卒業生・現役)相互連携の維持、情報交換、相互交流の場、卒業生総会に関する情報発信を趣旨としています。このホームページの開設により、会員方々のバスケットに関して、あるいはバスケットを離れての情報交換が行われ、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

吹奏楽部OBのページ(遊びの記憶)
<http://www.lares.dti.ne.jp/~takano-y/Ohizumi.htm>

「圧倒的音量!! 圧倒的音楽性!!」

OWOとは、大泉高校吹奏楽部のこと。Ohizumi Wind Orchestraの略。ただしOBは本バンドを単に大泉と呼称します。1961年結成時より、現役高校生及び強力なOBらのバックアップを背景に、各種演奏活動を現在も継続中です。西暦2001年には創設40周年を迎えました。

Valiance (ヴァリアンス)
http://homepage2.nifty.com/hal-web/vali/vali_top.htm

ヴァリアンスとは、陸上競技部OB・OGが作った小粋なグループです。以前はよく光が丘公園で身体を動かしたり、区民大会に出たりと活動していましたが、現在では主に誰かの結婚式の2次会で騒ぐような活動しかしていません。が、しかし! 毎年夏のOB戦には積極的に参加しています!

野球部応援サイト
<http://ohizumibbc.web.infoseek.co.jp/>

野球部を応援する目的で、父母会が独自に運営する野球部応援サイトです。

野球部を愛し、応援する全ての人々に、喜びを提供したいと思っています。

会員(個人)のホームページ

小山 恵一郎さん(高20期)のページ
「石神井公園散歩」

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~k-koyama/>

大泉高校生が愛した「石神井公園」の自然の姿を、今、全国で活躍する大泉高校生に見てほしいとの思いではじめました。毎月の石神井公園の四季の姿を紹介しています。この中に、“大泉高校の桜”の写真も載せています。



「石神井公園散歩」より、引用。
2004年4月3日撮影：小山恵一郎

後藤 和光さん(高20期)のページ
Kaz's BOOK STORE

<http://homepage3.nifty.com/kazgoto/>
YAHOO! JAPANも推薦している英語ジョークのページです。

川辺 洋二さん(高29期)のページ
週刊メジャーリーグ

<http://neko89.site.ne.jp/>
メジャーリーグの情報が、週単位で更新されています。誕生日占いも、マンガもあります。日本の球団合併問題についても論じています。

広報部からのお知らせ

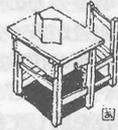
いずみ会(旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会)は下記ホームページを開設しています。同期会開催のお知らせとか、母校の行事日程なども掲載しています。新しい発見があるかも知れません。皆さん、一度訪れてみてください。

【URL】 <http://www.izumikai.net> (いずみ会でも検索できます。)

各期やOB・OG会などで、ホームページ・掲示板・メーリングリストをお持ちの時は、リンクさせていただきます。広報部までご連絡ください。

今後もこのような企画ページを掲載します。ホームページや掲示板、メーリングリスト、ニュースグループを開設している同期会やサークルの卒業生の皆様は、広報部までご連絡ください。会報にて、ご紹介させていただきます。

同期会だより



中高1期

30数年ぶりの邂逅

高橋 和久

私共は昭和22年卒(旧制中学4年卒)同23年卒(中5年卒)同24年卒(高1卒)の同期の仲間です。卒業後何回か同期会を開催しましたが、その後は社会人として多忙となり、集まる機会がないまま30数年が経過しました。ふと気づけば、齢はすでに古希を超え余命もそう長くはない時期に差しかかりましたので、ここで仲間が一堂に会い、お互いにしっかりと存在を確かめあい旧懐を暖めようと、平成15年11月13日に東武バンケットホールで同期会を開催しました。

数ヶ月にわたる調査の結果、判明した同期生は163人、内逝去者は30人、住所不明者は37人でしたので、残り96人に案内状を出しましたところ、予想に反し44人という大勢が参集し盛大な会となりました。

久しぶりの邂逅とあって、暫くは相手の確認に戸惑ったりしましたが、やがては打ち解けて話に夢中となり、折角用意した料理も殆ど手付かずのまま予約の2時間が迫り、全員の写真を撮って名残りを惜しみ乍ら解散しました。

面白かったことは、23年卒の連中が卒業証書を貰ったかどうかが話題となり、貰わず組が多数でしたが、後日B5判の卒業証書を貰っていることが判明し記憶の危さを露呈した一幕もありました。次回は16年11月10日を予定しています。因みに教わった先生は殆ど他界しておられました。



高2期

卒業後半世紀を過ぎて

柴田 早苗

4月17日(土)東武バンケットホールで第3回同期会を開きました。今回は初参加4名を含む36名が集い旧交を暖めました。(同期生157名、物故者17名、住所不明者19名)

当日は汗かくほどの晴天に恵まれ、参加者全員12時に集まりました。会の雰囲気は、皆酒の飲み方が年なりに綺麗で、穏やかな明るいものでした。

卒業後初めての出会い、胸の名札を確かめながら握手をして回る者、これからの老後や政治経済について語り合うもの、病気で入院したことを話者、同期生に主治医になってもらっている者、旅行中外国で偶然同期生に会った話をする者…。話題はさまざまでした。最後に第4回同期会の幹事を選出、来年4月9日(土)東武バンケットホールで会を持つことを決め、会を閉じました。

この同期会は、母校創立60周年、卒業後半世紀、同期生「古希」を迎える年、桜井宏、武見健三、寺島一郎の第1回同期会幹事の努力によって復活することが出来たのです。第1回の同期会は、戦中戦後通学した懐かしい「大泉」の地の「味三昧」で開きましたが、交通の便を考慮して、第2回から「東武バンケットホール」にしました。母校益々のご発展をお祈りします。



高5期

古希を迎えて

松坂 清

高5期生は、大泉高校を昭和28年に卒業、平成16年度に古希を迎える世代です。今年には昭和に換算すると79年、高卒後51年になります。卒業後は人、人生、会社それぞれに今日迄年輪を重ねてまいりました。

5期同期会は、卒業35周年記念(S63年)、年号代わり記念(H元年)、大泉高校創立50周年記念(H3年)、等々節目の集いも含めて、毎回40~60名ほどの出席者を迎えて恒例として順調に開催されてきました。同期会の他に個人間、各グループによる同好会として、ゴルフ、旅行、カラオケ、ダンス、コーラス等の交流も盛んに行われているようです。

昨15年は、3年振りに卒後50周年記念の同期会となり、出身中学校別の輪番制の幹事校を豊玉中学卒業有志で勤めました。その折、名簿の訂正に当たり、卒業時に375名の在籍の内、40余名の物故者(ご冥福を祈り合掌)、住所不明者も同数程度居り、また健在なる恩師は高橋、森谷先生のお二人のみとなり、「矢の如き光陰」を改めて痛感いたしました。当日は50年ぶりの再会あり、遠路福島、大阪からの常連の方も含め42

名。「親密感と心が和む同期会」となり出席者共々ご同慶に感じた次第です。今年の古希の集いの企画と皆様との再会を楽しみに、気力、体力、健康第一をモットーに楽しく有意義な日々を過ごしてまいりましょう!



高6期

愛の泉…

今村 邦夫

2月11日(水)赤坂のホテル「アジア会館」で行いました。参加者は女性24名・男性38名、恩師志賀一朗先生(90才)、井上森夫先生と故佐々木望先生奥様・陽子様、男性同伴夫人2名の計67名でした。開会挨拶と司会・進行は日比野弘君の名調子で始まり、代表幹事石井岱三君(いずみ会会長)の2期目への決意表明と6期諸兄弟が10年後にも健康で会合できるよう、お互い頑張りましょうと述べ、懇談に移りました。井上先生の乾杯に続き、志賀先生がひよんなことで杖を使う訳を述べられ、90才でも元気な源3原則を話され、10年後にも参加したい気力が同われました。佐々木先生奥様からも思い出話をして頂き、お礼に「愛の泉(大泉)くめどもくめどもつきぬかな」との句を下さいました。

懇親の後クラス毎の写真撮影で久しぶりに参加された諸兄弟に一言挨拶をして頂き、会場のレストラン「富士」(同期・猪嶋大君会長)からのお土産を手夕暮れの街に、楽しい思い出を胸に家路につかれました。6期は今年、大泉卒業50年目の春を迎えました。



写真は4月7日6期3Eクラス会の春の例会集合写真(新宿いらか「菟」店)です。女性13人・男性9人参加で担任の故堀江徳宝先生奥様・智子様が腰痛でお出でになれなかったのが残念でした。

高18期

十代の若さを取り戻して

青木 隆

2003年11月23日、晴天に恵まれ甲賀、菊谷、石井、服部、小田切、宇高、函子、佐伯、田上、園城寺、森谷の11名の先生方の列席をいただき、霞ヶ関三井クラブで2年ぶりに第9回18期同期会を開催いたしました。

塚田(小西)秋子さん、酒巻貞夫君、大川和彦君など卒業以来初参加の人、北九州からの角田(千葉)敬子さん、能登輪島からの渡部暢康君などはるばる遠方から駆けつけた方々をはじめとして久しぶりに参加された人も多数おられ、女子42名、男子42名の合計84名の同期生が集いました。

岡本豊君の司会の下、函子先生の開会の辞、宇高先生の乾杯で会が始まりました。今回は大泉入学から40年目という節目でもあり、何か趣向をとということで高校在学中の写真をスライドで写すことにしました。石井先生をはじめ宮田(大道寺)やよいさん、古屋一仁君、上野圭一君のご厚意で、入学試験から運動会、臨海学校、林間学校、文化祭、修学旅行など多数の写真を集めることができました。懐かしい写真を見ながら、十代の若い気持ちを取り戻し、高校時代の思い出やお互いの近況に話はずみまじりました。楽しいひと時もあっという間にすぎ、2年後の再会を約しながら、蓮沼(安部)



都さんのピアノ伴奏の下、校歌斉唱してお開きといたしました。



高29期

4年に一度の同期会

大久保 靖

我々29期は4年に一度、オリンピックイヤーにあわせて同期会を開催しています。

従来は土曜の夜、都心の宴会場で開催していたわけですが、遠方に住んでいたり、女性が参加しにくいといった問題がありました。そこで、幹事間で話し合い、今回は土曜午後の早い時間帯に、会費も出来るだけ安く設定して、さらに懐かしい母校の近くでの開催ということになりました。

昨年10月から会場を探し始めましたが、運よく石神井公園駅前の区民交流センター大会議室を借りることができ、6月26日(土)午後2時から80数名の同期生と6名の恩師を迎えて第3回同期会を開くことができました。

幹事の努力の甲斐あって予想以上に女性の参加者が多く、アツという間の2時間30分。恒例の校歌、校友の歌合唱に続き、クラスやクラブごとに記念撮影をし、4年後の再会を約して解散しましたが、ほとんどの参加者は幹事が用意した2次会会場へ移動して、さらに遅くまで交歓が続きました。人生の折り返し点を回り、ますます同期生の絆が深まったことを感じた一日でした。

(同期会後の7月12日に同期生の本田(須藤)志穂さんが急逝されるという悲しいお知らせがありました。謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。)



褒章受章おめでとございます

宮寺秀雄君の受章を祝う

長谷川 浩吉(高3期)

昨年のことになりますが、8月9日大泉高校3期宮寺秀雄君の「勲4等瑞宝章受章を祝う会」を小石川の庄やで開きました。

発起人は同期の佐伯嘉隆君と小生で、当日は気の合う20人の同級生が集まり、にぎやかに祝杯を重ねました。写真右から二人目の同君は保谷市(現西東京市)の市議会議員を7期28年間勤め、平成8年秋永年にわたる地方自治の発展に尽力したことにより藍綬褒章を受章し、今回重ねての嬉しい知らせでした。

また同君は大泉高校在学中はサッカー部の花形選手で、高1の時、西宮競技場で行われた全国高校サッカー選手権大会、高3の時名古屋で行われた第5回国体に東京代表として大活躍したスポーツマンでした。



お知らせ

■高9期同期会

平成16年10月10日(日) 17:30~
新宿三井クラブ(新宿三井ビル54F)
小久保 堯史 042-584-3470

■高10期同期会

平成16年10月18日(月) 18:00~
聘珍楼(新宿三井ビル54F)
齋藤 鴻志 047-439-0339

■高15期同期会

平成16年11月6日(土) 14:00~16:30
アルカディア市谷(市谷私学会館内)
南雲 治嘉 0492-59-1567

■高20期同期会

平成16年10月23日(土) 14:30~17:00
池袋メトロポリタンホテル 富士の間
関屋 収 045-701-2527
須藤 和由 03-3590-0695

■高21期同期会

平成16年11月27日(土) 18:00~
椿山荘
岩城 隆就 03-3999-5416

■高24期同期会

平成16年10月31日(日) 17:30~
大泉学園駅南口「土間土間」
いずみ会総会と同日開催です!
真柳 仁 03-3923-2817

大泉中学時代から60年近く付き合いし続け現在も旅行会、飲み会には必ず雄姿をみせていております。

紫綬褒章を受章して

戸塚 昭(高7期)



平成15年春の叙勲において、「ワイン醸造における酸化防止とそれによる高品質化技術の開発」の研究業績により、図らずも紫綬褒章受章の荣誉に浴した。受章対象となった研究は国税庁醸造試験所(現独立行政法人酒類総合研究所)在職中に行ったものであり、数多くの人々の支援・ご協力によるものである。

ワインはブドウ果実を原料にするが、ブドウ果汁及び発酵開始前の醪(もろみ)はもちろん、ワインも有害微生物に汚染されやすく、また空気中の酸素によって簡単に酸化され、最終的にワインの品質劣化を招く。これらの品質劣化を防ぐために、通常、二酸化硫黄(亜硫酸)を使用する。今回、ワイン醸造工程全般を通じて、二酸化硫黄の使用量を削減するための醸造法の開発研究が評価された。貯蔵熟成可能な品質の優れたワインの醸造には二酸化硫黄の使用は不可欠であるだけに、無添加ワインに過剰な期待を持つ消費者の多い現在、ワインに関する正確な技術情報の提供に努めたい。

OB・OG会



演劇部

藤本 均 (高20期)

「いつまでも役者？」

03年11月15日、池袋東武パンケットホールで第2回オールOB・OG会が開かれました。約40名の会員の他、現役の部員もゲストとして参加し、現在の大泉高校の様子に触れることもできました。当日は佐藤英雄さん(高3期)から横田可也さん(高9期)に会長が交代。重鎮・塚田圭一さん(高4期)のジョークも冴え渡り(よいしょ)、楽しい時間がアツという間に過ぎていきました。それにしても皆さん、いつまでも役者ですな。

演劇部だけではないでしょうが、一緒に活動した年代の会合は活発でも、世代を串刺しにした全体集会はなかなか困難です。しかし先輩から母校の歴史を聞ける貴重な機会であり、社会の中核にある中堅・若手と語り合える場でもあります。

オールOB・OG会を活性化、卒業してからもおいしい演劇部を目指したいと考えております。



OB・OG会 掲示板

■サッカー部

毎年4月第1日曜日に母校にて総会を開き、現役世代も含めての交流を図る。当日の、現役・OBとの交流試合の他に他校OB・シニア世代との交流試合、石神井高校との定期戦など。また、サッカー部会報の発行もしています。最近総会時、雨にたたられ思い切りグラウンドを駆け回れないのが残念です。

稲垣 智之(高33期) 03-3493-7343

■ラグビー部

年1回の総会で現役の決意表明、先輩からはアドバイスを送るなど交流、支援体制をとっています。大阪北野高校、愛知の旭丘、千種各高校、秋田の秋田高校、都立新宿、戸山、日比谷高校などのOB戦に参加。年に2回ほど若いも若きも楽しめます。今年度は嬉しいことに新1年生が多数参加し、部員に厚みが出来て、先輩部員ともども活躍が楽しみです。

酒井 陽三(高18期) 048-474-2698

ソフトテニス部

石橋 直彦(高23期)

ソフトテニス(軟式庭球)OB・OG会は年1回の総会を開催しています。今年は7月4日に高校内にて開かれ、コートでテニスを楽しんだ後会議室にて総会を行いました。今年は久しぶりに林名誉会長が出席され、卒業後間もないOB・OGまで幅広い年齢層が集まりました。活動、会計報告と共に出席者各人の近況報告を行いました。また総会後には駅近くの居酒屋で二次会を開き、テニス談議に花が咲きました。

今回はOB主体で結成されている大泉庭球会を紹介したいと思います。大泉庭球会は大泉高校のクラブ対抗戦で100を超えるクラブの中で1部リーグで活躍しており、春の大会では惜しくも優勝を逃しましたが、強豪の中で1部リーグに留まることが出来ました。これからも大いに力を発揮してもらいたいと思います。

末筆になりますが、いずみ会会員皆様のご健康とご活躍をお祈りしています。



■音楽部合唱班

昨年5月、ゆめりあホールにて初めて大きな演奏会を催しました。年に1回1泊で河口湖方面へ合宿。老人介護施設へのボランティアコンサートも行っています。今年から練習会場を大泉の勤労福祉会館に移し、毎月第3日曜日18:00より練習しています。皆様の参加をお待ちしています。

礪波 英児(高6期) 03-3951-9034

■バスケットボール部

毎年9月第1日曜日にOB・OG会を母校体育館にて開催。OB・OG有志での世代を超えた懇親会、ゴルフ、現役男女の試合観戦&応援、HPの運営などを行っています。

秋田 茂(高29期) 03-3998-7467

<http://www.geocities.com/jp/CollegeLife-Club/1518/>

■柔道部

今年は7月18日にOB・現役との合同練習会と懇親会を開きました。年1回はこうした会を持っていく予定でいます。現役とのパイプは常時繋がっています。

声

●小児病棟の子ども達や小学校の子ども達に読み聞かせのボランティアをしています。どの子ども達も、さとうわきこさん(高16期)の本が大好きです。「ばばあちゃん」シリーズはウケまくっています。●60歳を過ぎてから、ヴァイオリン、馬頭琴にチャレンジ。ホノルルマラソンも3回連続参加。元気にしています。●平成3年から人工透析の助けを借りています。正味4時間30分の透析中、最大の楽しみはクラシックを中心とした音楽CDを聴くことで、今や生甲斐です。●先月ちょっとした機会を得て、30年ぶりに高校時代のP.P.M.復活! 時を越えても息はピッタリ。文化祭の舞台をそのままに、楽しかった。●野球部の4期5期の有志と、年数回のゴルフコンペを行っています。2001、2003年にはハワイでもやりました。●大泉OB・OGコーラスに属し、岡部先生の指導の下、昔の仲間と楽しんでいます。●会報が面白くなりましたね。血が通いだしたという気がします。●会報・ホームページが充実してきましたね。いずみ会室の開設なども嬉しく感じます。提案ですが①会報は編集・デザインに同窓生を活用して、専門的に検討しては?②総会・懇親会の名称をスマートな言い方に変えてはいいかか。

会員訃報(敬称略)

心よりご冥福をお祈りいたします。

中1期	遠藤 久長	平成15年3月1日
中1期	小川喜卯六	15年8月14日
中1期	黒瀬 誠	16年3月12日
中3期	荻野(菊池)豊	13年4月3日
中3期	日熊 靖朗	15年3月18日
高3期	白倉 鉦吉	15年9月16日
高4期	鈴木 文雄	15年1月17日
高4期	石橋 峰雄	16年5月25日
高6期	高橋 輝夫	15年11月21日
高6期	鈴木(佐藤)修蔵	15年12月12日
高7期	佐藤 弘明	16年2月7日
高7期	田代 力也	15年9月
高7期	花園 宗一	15年9月
高7期	長坂(高室)郁子	14年1月4日
高10期	飛田(栩木)紀子	16年6月27日
高11期	川井 共通	16年1月
高12期	遠藤 文男	15年11月16日
高12期	川崎 浩	15年5月16日
高12期	松田 良二	15年9月7日
高13期	林 茂男	15年12月27日
高16期	荒井(上野)和夫	16年8月31日
高16期	廣瀬 一郎	15年7月16日
高18期	金子 友昭	16年3月
高19期	木庭 賢二	15年3月11日
高20期	吉沢 修	15年4月30日
高21期	小林 一男	15年5月1日
高22期	福島 弦	15年8月20日
高28期	松村 秀樹	16年5月25日
高29期	本田(須藤)志穂	16年7月12日

10月31日(日) いずみ会総会・懇親会のご案内

"4で、よんで、呼び合っ" 行こうよ 母校大泉!!

最近の大泉境界をご存知ですか？

駅前や校門付近の変貌振りに驚かれるでしょうね。

母校にいらっしゃいませんか？

大木の桜の風格にはさぞかし歳月を感じることでしょ。

懇親会は、卒業期下一桁「4」の期が当番で

大勢の「ヨン様」がお出迎えしますよ。

現役のブラスバンド部の生演奏もあります。

ビンゴゲームの賞品も一杯です。

～「思い出話」「これからの夢」など

世代間を越えて大いに語り合しましょう～

と き 平成16年10月31日(日) 13時～16時

ところ 母校(2F)大会議室・視聴覚教室

参加費 中1期(S20年卒)～高43期(H3年卒) 2500円

高44期(H4年卒)～高53期(H13年卒) ○1000円/

高54期(H14年卒)～高56期(H16年卒) ◎無料!!

今から楽しみ、乞う御期待! 皆さん、母校でお会いしましょう!!

御出席の方は同封のハガキで御返事ください。(10月15日まで)

いずみ会会長 石井岱三(高6期)

4の会 会長 比嘉 高(高4期)

いずみ会室の利用状況を報告します

昨年度幹事総会で承認された「いずみ会室」は、いずみ会活動の拠点として理事会をはじめとした各種会合や作業の場に使われています。

母校の円形校舎3階にある同窓会室は、機械警備の導入により夜間や休日の利用が困難な状況に置かれていました。開設のきっかけとなったのは、前号の会報で石井会長が表明したとおり「業務の集中化と効率化」を目指したものです。

昨年6月の使用開始から1年間の利用状況をご報告いたします。

【いずみ会室利用状況】(2003.6～2004.5)

1 役員会(会長・副会長を含む)	8回
2 理事会および準備会	15回
3 監査役会	2回
4 総務・企画部	2回
5 広報部	12回
6 会員情報部	5回
7 会計部	2回
8 3の会	8回
9 各同期会の打ち合わせ	12回
合計	66回
利用者数(延べ人数)	483人

(経費)

1 開設準備費	146,527円
※エアコン設置・カーペット張替	
2 維持費	657,739円
※家賃(月額50,000円)・光熱水費	
☆開設にあたり、「3の会」有志をはじめ、多くの方から現金・備品・什器などのご寄附・ご寄贈をいただいております。	

『60周年記念名簿』を発行します

来年度はいずみ会60周年記念事業の一環として、名簿を発行します。

「個人情報保護」が問題になる昨今、同窓会として、各期のデータを正確に把握していれば十分であり、一冊の本の形で会員の皆様に提供する必要はないという意見や、六十の年齢差のある名簿に興味はなく、そもそも大きく重すぎるとの意見などを検討した結果としての発行です。

既刊『50周年記念名簿』で好評の「アルバム」を、今回も充実させて、母校といずみ会の歴史を一望できるページを計画しています。これはという写真をお持ちの方は、ご一報下さい。

また、先生方にメッセージをいただき、「恩師のページ」として特集を組みます。

巻末には、「広告」ページがあります。同窓生の消息・活躍がうかがえ、名簿の単価を下げることに繋がります。ふるって「広告」を出して下さい。経営者じゃないから無縁と思わず、ご自分の期で、「我々の大泉時代」をアピールしてみませんか(サイズは1ページ～4分の1ページ。詳細は、いずみ会までお願いします)。

こんなに盛り沢山では、大きく重いものになる懸念がありそうですが、来年度施行の「個人情報保護法」もあり、進学先や職業欄は設けず、前回・前々回名簿の「1クラス1ページ」を、「2クラス1ページ」に組んで厚みを減らし、かつ読みとり易いものを製作するつもりです。

【名簿】製作のアイデア・ご意見を多数お待ちしております。(会員情報部一同)

幹事の皆さま

お手伝いします

同期会・クラス会・各部OB・OGの会合等を企画中の幹事の皆さまに、以下のお役立ちアイテムを用意しています。

- 1 ネームプレート(名刺サイズ)をお貸しします。
- 2 「校歌」「校友の歌」のテープ、またはMDをお貸しします。
- 3 同期生の宛名シールを作成します。
- 4 いずみ会HPへ案内を掲示します。
*会員のページを参照の上、izumikai@v7.comへ原稿をお送りください。
- 5 会報に同期生への案内チラシを同封します。
*印刷済チラシ(A4サイズ)を、9月上旬までに人数分以上ご用意ください。会報の配送は9月末頃を予定しています。

★窓口は総務・企画部の大高光蔵(高13期)です。

住所: 〒176-0012 練馬区豊玉北4-21-18
電話/FAX: 03-3992-5529

Eメール: otaka-k@lapis.plala.or.jp

*詳細は追って担当者より連絡します。

いずみ会連絡窓口

ご意見、ご感想、住所情報等は下記の方法で連絡をお願いします。

- 同封のハガキにて、お寄せ下さい。
- 郵便 〒178-0063 練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号 いずみ会室
- FAXなら、045-561-4628
- Eメールなら、izumikai@v7.com

編集後記

■本号から12ページすべてをヨコ書き組みにして、右綴じから左綴じに変更しました。読み易さはいかがでしょうか？

■ご存知の方が多くは思いますが、会報「いずみ」のような広報誌にも著作権があります。執筆者、写真提供者、いずみ会の承諾なしに、会報の全部、または一部を転載することは出来ません。同期会ホームページなどに記事の一部でも転載する場合、いずみ会まで必ずご連絡ください。

■記録的な暑さの中、杉山部長を筆頭に、酷暑による脱水症状と五輪による寝不足にもめげず、皆よく頑張り会報を作りました。編集会議の後の麦茶のうまかったこと。でも、もっと人がいると楽しいのにな! 読むばかりでなく、作ってみるのも面白いかも。連絡を待っています。

■広報部会報班 杉山肇(高6期)、須藤一彦(高9期)、北上俊人(高11期)、奥本久治、久保田繁、森田陸四郎(以上、高15期)、荒井真理子(高20期)、植村久(高21期)、大久保靖(高29期)、仲沢浩一(高32期)、中村匡宏(高42期)

印刷所/一光印刷所 ☎03-3953-3336